

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 6 日（金） 19：00～20：00
開催場所	釧路市交流プラザさいわい（208号室）
参加人数	3人
出席議員	月田光明副議長（石炭対策） 高橋一彦議員（座長・議会運営・経済建設） 渡辺慶藏議員（総務文教） 金安潤子議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：議会報告会への参加者に対し、どのような関わり方を期待しているのか。</p> <p>答：さまざまな地域の現状や課題に関する普段の疑問等を発言していただき、釧路市をよくするための議論を行うことで方向性が見出せるとよいと思っている。今後も参加していただき、率直な意見を出してほしい。議員は市民の代表であり、市政に伝えるパイプ役として頑張っていきたい。</p> <p>問：くしろ 20 歳のつどいの会場変更には事情があると思うが、北大通のにぎわいづくりに配慮すべきではないか。</p> <p>答：成人式のあり方を含め財政面から会場が変わったが、今年は荒れた成人式となり、式のあり方については、酒類持ち込みのチェック体制を含め、運営体制の見直しを検討していくこととなっている。</p> <p>問：震災瓦れきを受け入れないということについては、条件付きとするのであれば別だが、一方的に感じるがどうか。</p> <p>答：震災瓦れきに関する意見書案が否決となったが、7 会派中 4 会派が反対、3 会派が賛成であった。同趣旨の意見書が道議会では全会一致で可決されたが、市議会では、特に水産関係者等から風評被害を懸念する声</p>

	<p>があることを受けて否決となった。釧路市では最初は震災瓦れきの受け入れを表明していたが、放射性物質に汚染されたものが前提となった中では受け入れしないと意思表示してきた経過がある。復興を支援したい思いは皆にあるが、それを妨げているのは放射能であり、気持ちだけでは難しい問題である。国がもっと責任を持って対応することを望んでいる。</p> <p>問：津波警報時に橋が通行止めになり、高台方向へ避難することができなかったが、改善できないのか。</p> <p>答：昨年の大津波警報時は橋が全て通行止めとなり、市民から色々な声が出された。警察や開発建設部や市等の協議会で議論した結果、高台方向への通行は可能とし、中心部方向への通行は防災関係者以外は禁止とすることとした。</p>
<p>議会への要望</p>	<p>1 1 議会報告会には市議会に興味がない人にも来てもらうことが大事だと思うので、もっと市民にアピールできるものを期待したい。</p> <p>2 参加者が少なく残念である。自分を含め、周りにもう少し声をかけて参加すればよかったと思っている。</p>
<p>市への要望</p>	<p>—</p>